

【1】

ともしび²⁰¹⁵



お正月は、寺院や神社、各家庭などで様々な伝統的な行事が行われます。

その中でも有名なものと言えば、「正月飾り」です。お寺では、「鏡餅」を床の間やご本尊様の前など、神聖な場所に飾ります。もともと鏡餅を供えるのは、お正月に現れる「歳徳神^{としとくじん}」をお迎えするために必要なことと言われています。

歳徳神は、穀物を司る神様で、その年に実る食べ物に深く関わっており、お正月は、歳徳神に一年の始めにきちんと収穫できるように祈る大事な機会なのです。普段、当たり前のように身の回りにある食べ物ですが、改めて感謝をするのに良い日となっています。

私も今年は、鏡餅を歳徳神に供えて、豊かな実りがあるように祈り、毎日の食事に感謝する日にしたいと思っております。

（まっば ゆうぜん）
松葉 裕全

ともしび法話



『笑顔の プレゼント』



皆さんは「お布施おふせ」と聞くと何を思い浮かべるでしょうか。おそらくほとんどの方は、お坊さんにお経を読んでもらい、そのお札に渡すお金のことを思い浮かべるのではないのでしょうか。

実は布施とは、何か物を渡すというよりも『自分がされて嬉しいことを、相手にもお渡ししよう』ということ。つまり、気持ちの良い笑顔を振り向けることや、相手のことを心から考えて話す言葉も布施となるのです。

私は毎日電車に乗っていますが、東京の朝の満員電車は本当に大変です。乗る前からすでに満員状態で、扉が開いた途端に人があふれ出てくる、そんな状況です。少し詰め状態なので、たった三十分でクタクタになってしまいます。もちろんそれは自分だけではなく、乗っていた誰もが同じ状態。全員が不快な気持ちを抱いていることでしょう。人の感情はそのまま顔に映りやすいもので、口で言わなくとも何となく伝わってきます。そんな不機嫌な顔を見れば、誰もいい気持ちにはなりません。では、反対にそれが「素敵な笑顔」であったならどう

でしようか。

私が普段利用している改札の駅員さんは、他の駅の駅員さんの様に「おはようございます」など、挨拶をしてくれるのはもちろんですが、それ以外にも朝であれば「行ってらっしゃいませ」などと言つて、満面の笑顔で挨拶をしてくれています。

また帰り道は帰り道で、仕事でぐったり疲れている人々に、笑顔で「お疲れ様でした」と声をかけてくれるのです。流れるように人々が通過する駅の改札ですから、ほとんどの人は止まってその笑顔に応えるわけではありません。駅員さんも、一人一人の顔色を見て言葉を掛けていくわけではなく、ただちよつとした挨拶の工夫をしている程度のことなのかもしれません。

しかし、その駅員さんのちよつとした心配りによつて、私は「今日も一日、頑張れそうだ」とか「今日も疲れたけど、よく頑張ったな」と、元気づけられるだけでなく、自分は今、不快な顔をしていたな

と気づかされ、駅員さんへの感謝の気持ちすら湧いて来たのです。

布施を学ぶには、自分のことよりも、まず第一に相手のことを考える心配りを大切にしなければなりません。自分のことを大事にする気持ちはもちろん大切ですが、自分の利益を第一に考え「自分が良ければそれでいい」などと考えてとつた行動は、時として他の人に不快感を与えることもあるのです。

どうしても「自分のことが一番可愛い」と思うのが、私たち人間です。そんな自分ばかりを可愛がる気持ちを離れるために、布施という教えがあるのです。

心から相手のことを思う気持ちや行動によって、人は元気づけられたり、喜びや幸せを感じます。それは何か特別なことをしなければならぬ、ということではなく、相手のことを思う心配りから始まるのです。

「今日も一日、頑張ろう。」と思われるような、そんな素敵なプレゼントが私もできるように、毎日を心掛けて生きていきたいものです。

〈田澤 玄幸〉
たざわ げんこう

私の

ふるさと

第二十六回 さっぽろ大通公園 おおどろ公園

展望台から見た大通公園

大通公園は上の写真のように、百メートル程に区切られた長方形の公園が約一・五キロメートルに渡って連なる、札幌の街並みを象徴する公園です。

オフィスやデパートなどのビルが立ち並ぶ札幌の市街地の中心にあつて、広場や噴水、芝生や花壇などが整備された、緑豊かな癒しの場でもあります。またここでは、年間を通して「YOSA KOIソーラン祭り」や「雪まつり」など、盛大なお祭りがいくつも開催され、多くの観光客と市民に親しまれています。

そして、北海道の美味しい野菜といえばトウモロコシ。私は幼いころから、祖母が食べさせてくれるトウモロコシが大好きでした。大通公園では、「焼きトウモロコシ」のワゴン販売が有名で、なんと明治時代から続いているそうです。醤油をぬって焼かれ、香ばしい香りを放つこの大通公園名物には、誰もが引きつけられることでしょう。

〈日比博英〉

〒105-8544 東京都 港区 芝 2-5-2 曹洞宗宗務庁内
曹洞宗総合研究センター 教化研修部門 一般教化課程
ともしび法話会

TEL 03-3454-6844 FAX 03-3454-7180

2015(平成27)年 1月1日発行 第391号